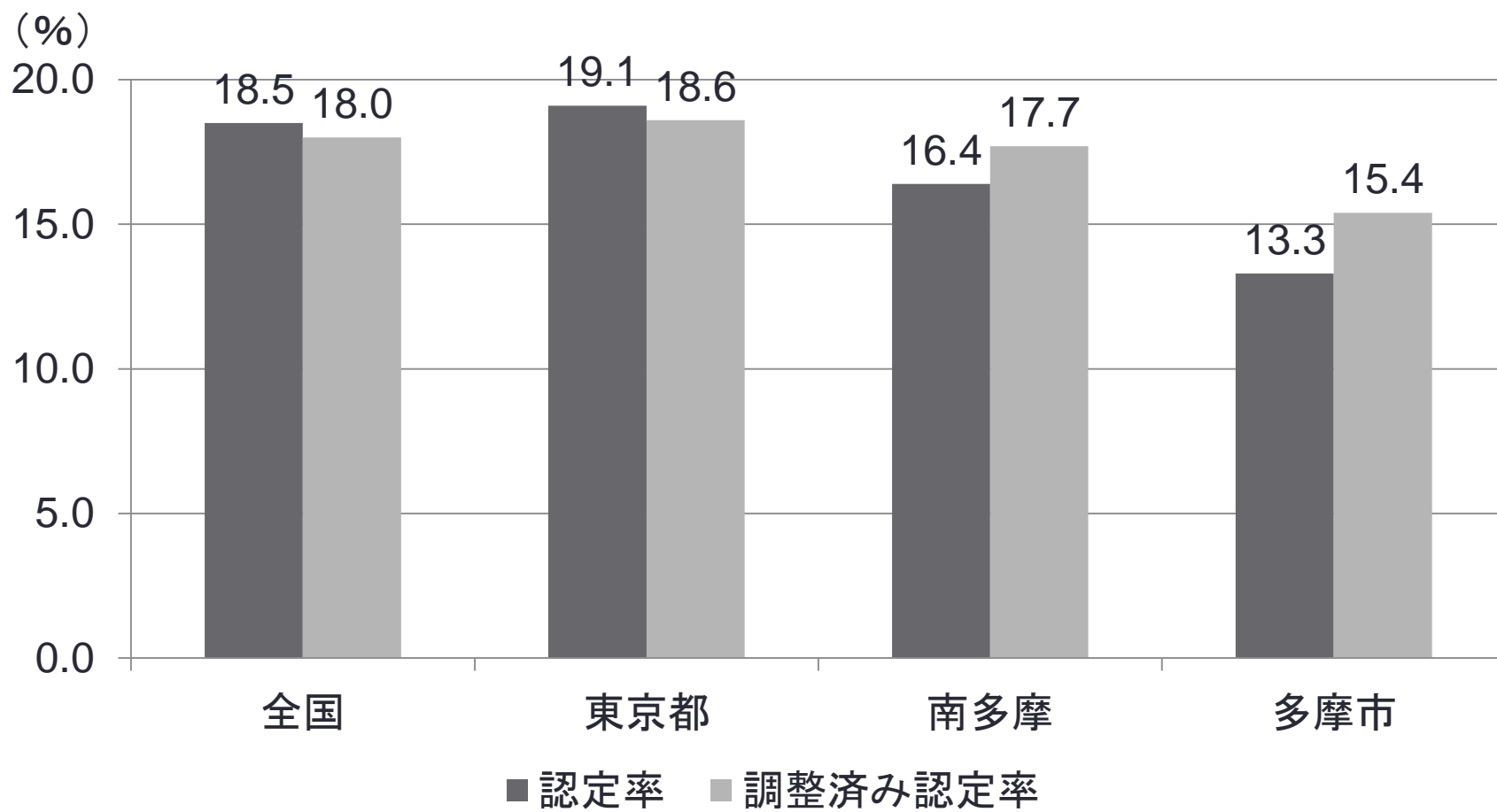


第6回一般介護予防事業評価

資料2

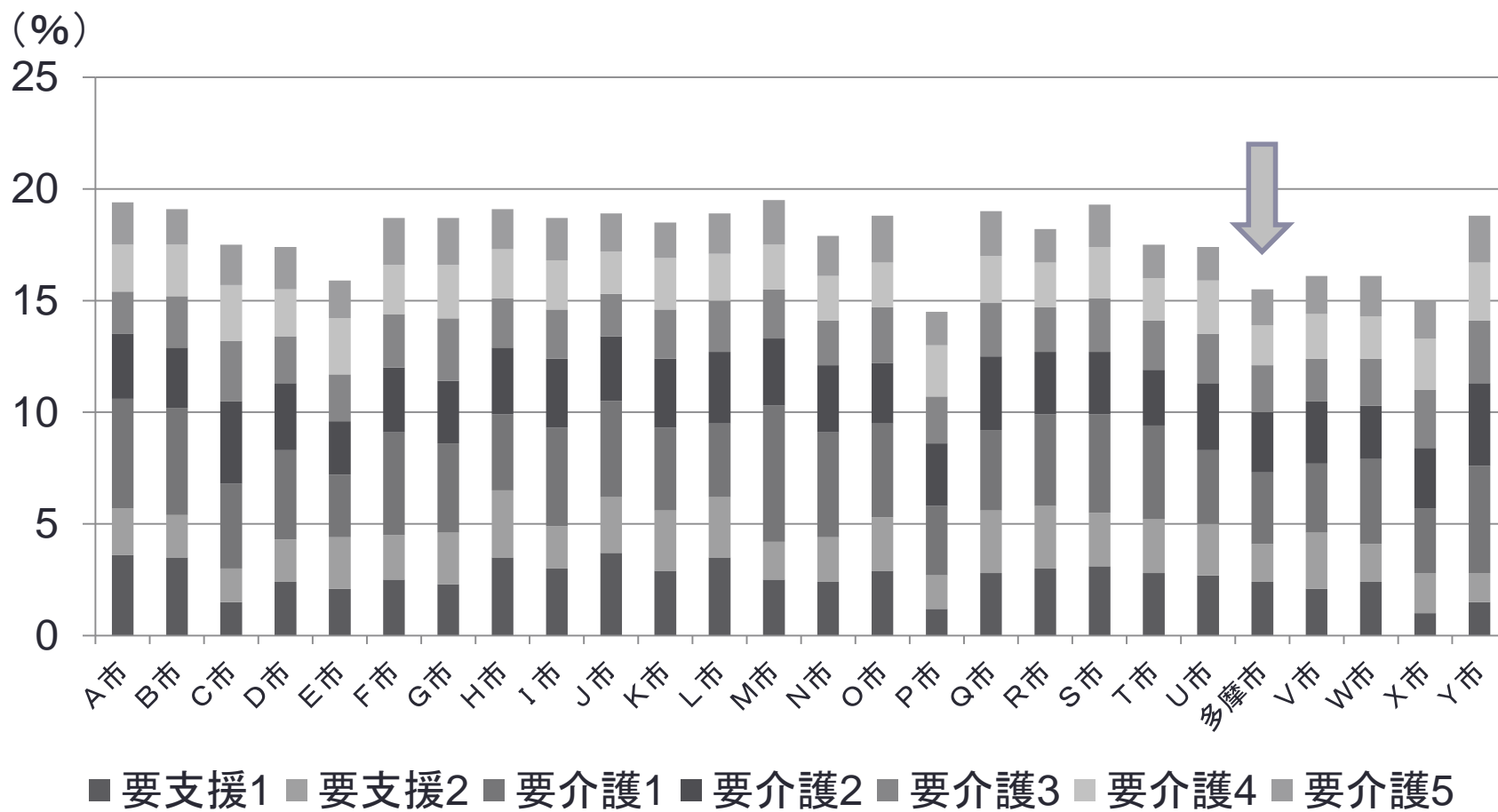
一般介護予防事業評価について(途中報告)

第2号被保険者を含む認定率



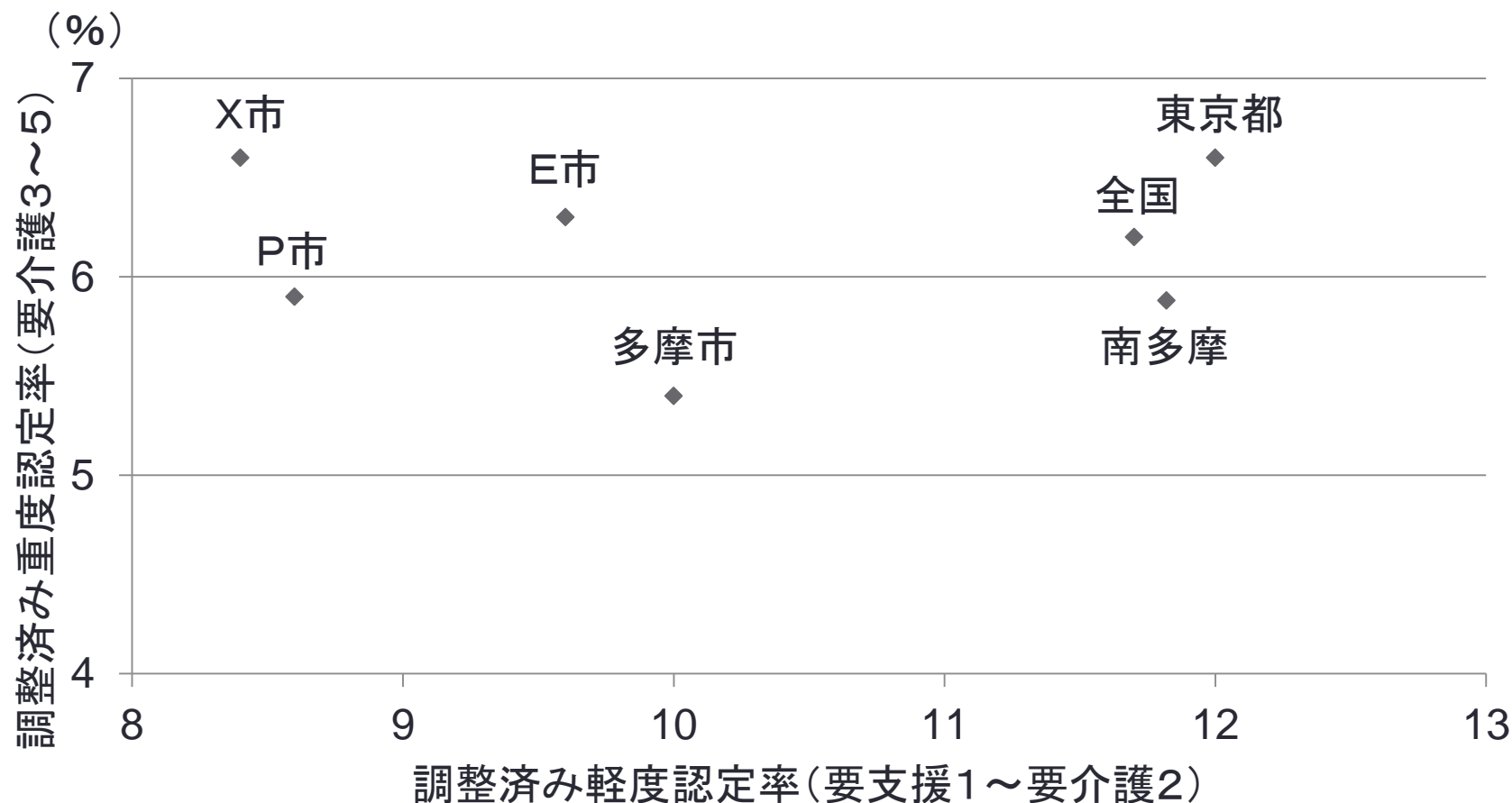
※地域包括ケア「見える化システム」より、平成28年「介護保険事業状況報告」月報及び総務省「住民基本台帳人口・世帯数」
※調整済み認定率は、認定率の多寡に大きな影響を及ぼす、第1号被保険者の性・年齢構成の影響を除外した認定率

調整済み要介護度別認定率



※地域包括ケア見える化システムより(平成28年)
 ※厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率の分布



※地域包括ケア「見える化システム」より

※調整済み認定率は、認定率の多寡に大きな影響を及ぼす、第1号被保険者の性・年齢構成の影響を除外した認定率

介護予防訪問介護と介護予防・生活支援サービス(訪問型)支払い状況

サービス種別		平成27年度	平成28年度	27年度から 28年度への 伸び
介護予防 給付費(再掲)	介護予防訪問介 護	90,630,639	50,107,318	0.55
地域支援 事業費	現行相当訪問介 護		41,791,285	
	住民主体による 訪問型サービス		45,600	
計		90,630,639	91,944,203	1.01

介護予防訪問介護と介護予防・生活支援サービス(通所型)支払い状況

サービス種別		平成27年度	平成28年度	27年度から28年度 への 伸び
介護予防 給付費(再掲)	介護予防通所介護	178,740,679	99,210,757	0.56
地域支援 事業費	現行相当通所介護		90,356,278	
	他市総合事業 ※1		72,240	
	短期集中 予防サービス事業		29,552,293	
計		178,740,679	219,191,568	1.23

※1 他市の住所地特例施設等での現行相当通所介護以外の総合事業

多摩市の介護予防・生活支援サービス事業

平成28年度実績及び平成29年度（速報値）

サービス種別		内容	年度	事業者数等	実数	延べ数
訪問型	住民主体による訪問型サービス	社会福祉協議会、シルバー人材センター、特定非営利法人等が実施【研修を受けた市民（生活サポーター）が支え合いとして実施】	平成28年度	4事業者	8人	87人
			平成30年1月末時点	5事業者	37人	113人
通所型	短期集中予防サービス「元気塾」	生活機能向上のため、運動・栄養・口腔・認知等の機能向上プログラムを短期間で実施	平成28年度年間登録者	3カ所	238人	
			平成29年4月～3月開始登録者（3月8日現在）		157人	

通所型短期集中予防サービス事業 「元気塾」

H29.4からH29.11の間の卒業生

市全体で 88名が利用のうち5名が途中退所者

※桜ヶ丘途中退所者

1ヶ月目の少数回利用で終了に至っている。疾病の関連で退所に至ったケースが多く、地域包括支援センターに勧められ利用となったものの、本人の身体状況等に合わなかった可能性がある。

※諏訪

開始当初、膝の痛みがあったケース。3ヶ月目まで、休みながらも来ていた。

卒業生数実数（人）

	桜ヶ丘		諏訪		南野		合計	
卒業生	33	89.0%	27	96.0%	23	100.0%	83	94.0%
退所者	4	11.0%	1	4.0%	0	0.0%	5	6.0%
合計（入所者数）	37		28		23		88	

H29.4からH29.11の間の卒業生の年齢構成

市全体では、75-84歳が多い

年齢別内訳（人）

	桜ヶ丘		諏訪		南野		合計	
65-69歳	1	3.0%	2	7.0%	1	4.0%	4	5.0%
70-74歳	5	14.0%	1	4.0%	3	13.0%	9	10.0%
75-79歳	10	27.0%	15	54.0%	8	35.0%	33	38.0%
80-84歳	15	41.0%	9	32.0%	4	17.0%	28	32.0%
85-89歳	5	14.0%	1	4.0%	5	22.0%	11	13.0%
90-94歳	1	3.0%	0	0.0%	2	9.0%	3	3.0%
95-99歳	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
100以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	37		28		23		88	

○個別の課題達成割合 (H29.11末までの卒業者)

目標達成状況	全体		桜ヶ丘	南野	諏訪
初期目標達成	67	(76.1%)	26	19	22
目標途中変更 達成	8	(9.1%)	7	0	1
目標未達成 終了	5	(5.7%)	0	3	2
利用延長	3	(3.4%)	0	1	2
何らかの理由により 中止群 (含、未利用)	5	(5.7%)	4	0	1
合計	88	(100.0%)	37	23	28

まとめ

結果としては個人の課題（目標）達成ができたのは「達成」「変更達成」合わせて75人（85.2%）となり、昨年度通年（153人（69.6%））に比べると、増加している。

→リハ職による目標の絞り込み、アセスメントによる目標の途中変更によるものと考える。

目標未達成終了となっている方は、5名（5.7%）となっている。昨年度通年に比べると（46名（20.9%））減少している。

→後半月出席していない鬱の方、病状の悪化の方。

その他のケースに関しては、中間での目標修正や、運動量の自己コントロールの指導などの強化が難しかったのか、リハ連絡会で聞き取りながら、検討課題として挙げていくべきと感じている

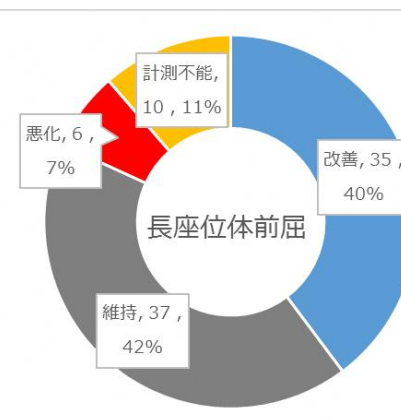
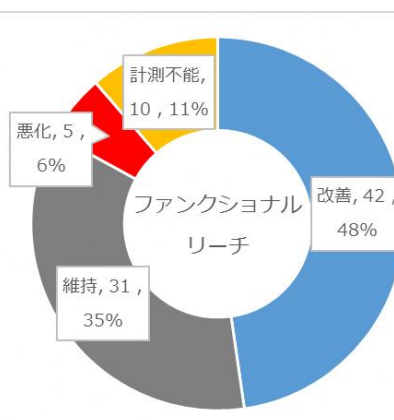
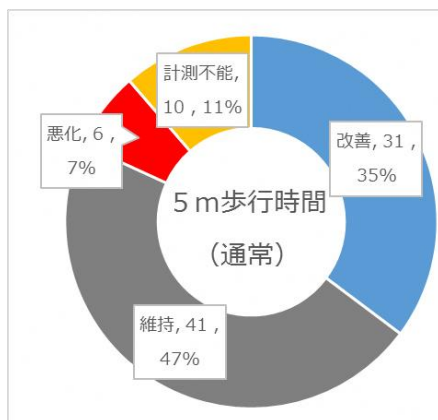
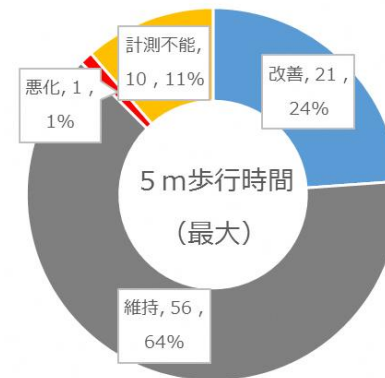
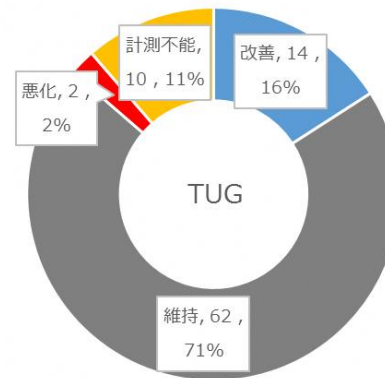
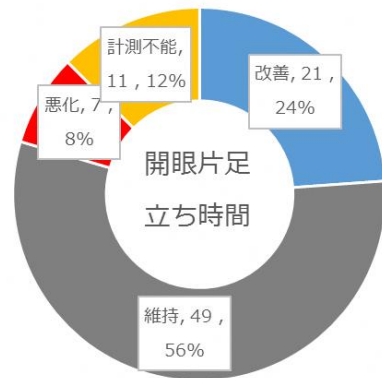
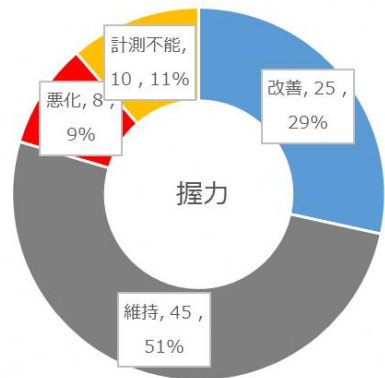
途中中止群の中には、一度も参加していない方が含まれている。見極めに関われる体制があるものの、利用頻度は少ない。

※今回はH29.4～11に終了している方の集計のみとなっている。グッドライフミーティングの開始後にスタートしたケースはほぼ含まれていない。

H29.4からH29.11の間の卒業生の体力測定変化

昨年度同様、ファンクショナルリーチや、長座位体前屈の改善率が高い。歩行能力を見るテストについては、開始当初からレベル5に該当している方が多いため、維持となっているケースが多い。

※H27年度までの2次予防事業で使用していたレベルを使用して変化を表記。そのため、地域介護予防教室とは、基準が異なる。



29.4からH29.11の間の卒業生状況

※卒業先として、最も多いものが①地域介護予防教室、次いで⑤その他の地域活動となっている

※①～⑤の地域活動につながったケースは市全体で72名（82.0%）となっている

包括支援センター	延べ人数	行先																	
		①地域介護予防教室		②サロン		③ボランティア		④民間スポーツクラブ		⑤その他の地域活動		⑥介護保険		⑦その他		⑧なし		⑨退所者	
西部	16人	10人	62.5%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	6.3%	2人	12.5%	1人	6.3%	0人	0.0%	1人	6.3%	1人	6.3%
東部	40人	12人	30.0%	6人	15.0%	0人	0.0%	2人	5.0%	12人	30.0%	3人	7.5%	2人	5.0%	0人	0.0%	3人	7.5%
多摩C	12人	6人	50.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	2人	16.7%	2人	16.7%	2人	16.7%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
中部	13人	5人	38.5%	1人	7.7%	1人	7.7%	0人	0.0%	4人	30.8%	0人	0.0%	2人	15.4%	0人	0.0%	0人	0.0%
北部	7人	1人	14.3%	1人	14.3%	0人	0.0%	1人	14.3%	3人	42.9%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	14.3%
合計	88人	34人	38.6%	8人	9.1%	1人	1.1%	6人	6.8%	23人	26.1%	6人	6.8%	4人	4.5%	1人	1.1%	5人	5.7%

